

第2次 雲南市 環境基本計画 概要版

2018(平成30)年度 → 2027(平成39)年度

～ときを越え水と緑と人が育むエコシティ・雲南～



プラチナ社会の実現へ

(写真提供: 武田克弘氏)

市民一人ひとりがプラチナのように輝く社会の実現をめざして

2017(平成29)年、「コウノトリの雲南市」が全国で一躍脚光を浴びました。青空高く優雅に飛翔するその様子は、市民の誇りであると同時に絶滅危惧種の生きものも棲みやすい自然環境が本市に存在することの証でもあります。また、同年4月には、大東町の市民活動団体「赤川ほたる保存会」が環境大臣表彰を受け、ホテルの保全活動が高く評価されました。

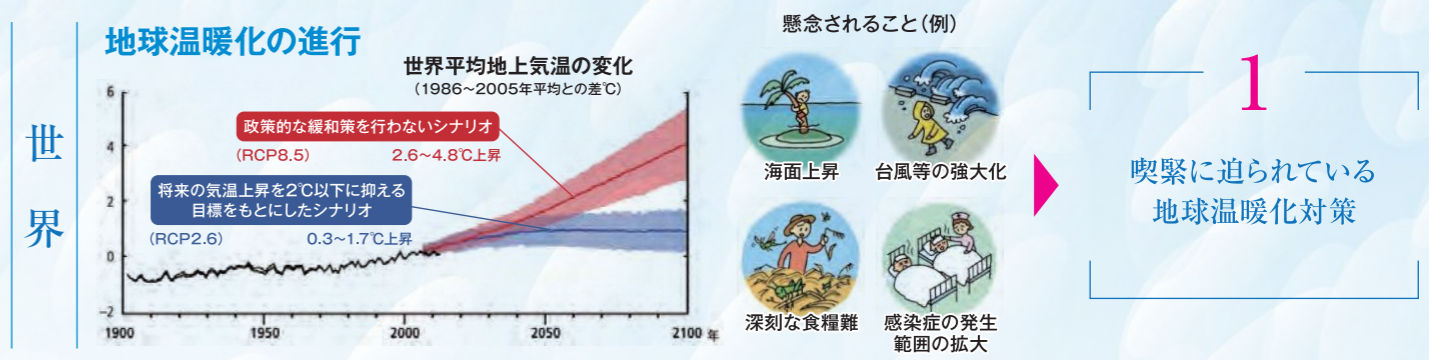
同年春には雲南市吉田町宇山地区において、地元民間組織による「炭蓄電器」が誕生。自然にある資源を有効に使い、エネルギーの地産地消を地で行く取組みに注目が集まっています。

少子高齢化社会の真ただ中であって、多くの課題が山積していますが、ピンチをチャンスととらえ、自然エネルギーや豊かな地域資源を活用して、新たな可能性を求めて活発に動く。その真摯に取り組む人々の横顔が、まさに威厳に満ちてプラチナのように輝き続ける社会、つまり雲南市そのものなのです。

世界・国内で起こっていること

背景

私たちを取りまく環境において、世界をみると化石燃料の使用を主な要因として地球温暖化が進行しています。国内では、東日本大震災を機に、原発や大規模集中型エネルギーのあり方を見直す契機となりました。また、少子高齢化や都市圏への人口集中は、地方を維持していく担い手不足に直面しています。



国内

エネルギーミックスのあり方

再生可能エネルギー(例)

木質バイオマス
林地残材を燃料にして給湯や暖房に活用 (雲南市森林バイオマス事業)

太陽光発電
屋根に設置された太陽光発電のソーラーパネル

地域を維持していく担い手の不足

全国1,799の市町村のうち、896の自治体が消滅する可能性がある都市と推計 (日本創生会議・人口減少問題検討分科会推計)

※消滅可能性都市
2010年から2040年にかけて、20~39歳の若年女性人口が5割以下に減少する市区町村

道路周辺の除草活動

2 再生可能エネルギーの活用や地域分散型エネルギー供給へのニーズの高まり

3 消滅する可能性はもちろん、地域を維持していく担い手が減少。

雲南市において押さえるべき視点

上記の1~3をふまえ、私たちの暮らす雲南市の環境を良くしていくには、これらを同時にとらえ、「Think globally, act locally」(地球規模で考え、足元から取り組む)*の考え方のもと、環境活動により、人口減少や少子高齢化など地域が抱える課題の解決にも繋げていく視点が必要です。

*Think globally, act locally (地球規模で考え、足元から取り組む)環境活動についての有名な言葉。市民一人ひとりが地域での取組みから全てが始まることを示唆しています。

計画策定の目的

上記のような地球規模での課題や国内での課題を見据えながら、雲南市のもつ豊かで美しい農山村をこれからも守り伝えていくため、めざす環境像「ときを越え水と緑と人が育むエコシティ・雲南」をテーマに、市民や事業者、行政が一体となって、環境を改善するための指針として「第2次雲南市環境基本計画」を策定します。

3つの基本目標とポイント

本計画は2018(平成30)年度から2027(平成39)年度までの10年間とします。目指す環境像「ときを越え水と緑と人が育むエコシティ・雲南」の実現のため、以下に挙げる基本目標をもとに、市民や事業者と連携しながら進めていきます。

基本目標

1

安心・安全に暮らす

これからも私たちが安心・安全に暮らしていくためには、水や大気をきれいに保つことを心がけるだけでなく、ごみを減らしたり環境にやさしい消費活動をするなど、環境を考えて暮らすことが重要です。

意識して行動しよう!

水環境の保全

生活排水や工場・農畜産業排水、河川環境の保全に努めましょう。



大気環境の保全

自動車や工場などから出る有害物質の対策に努めましょう。



廃棄物対策

3R運動を意識し、ごみを減らし適切に処理しましょう。



環境に配慮した暮らし

食を通じて環境に配慮するなど環境にやさしい消費活動をししましょう。



地域での取り組み事例

雲南市の女性の集い

「雲南市を明るく住みよい街にするため、女性の感性を活かし、男女共同参画社会の実現を目指す」ことを目的としています。これまで、ペットボトルのキャップや空き缶のプルタブのリサイクル、ごみの分別・減量のための替え歌ソングを作って啓発するなどの活動をしています。

- 「実践ソング」ソング
- 生ゴミはできるだけ 自分のお家で かつづけよう
食事は残さず 食べようね 心がけて 気くばろう
 - 新聞・雑誌・ダンボール リサイクルに出しましょう
むだな物は買わないよう 詰め替え用品 買いましょう
 - 買い物する時 マイバック カバンに入れて お店で
買った物 入れて帰りましょう むだな包装 ことわろう
 - 使わなくなった 不用品 ほしい人にゆずりましょう
そうして 再び使おうよ ゴミの減量 いたしましょう
 - ラップは 燃えるゴミに 入れなくて ラップはラップで まとめよう
そしてプラスチックの日に 出そう 正しい分別
心がけよう ゴミの減量 いたしましょう

作詞 大東町の女性の集い
※替え歌ソングは童謡「糸と亀」のメロディーで、実践すべきことが分かりやすく紹介された歌です。

基本目標

2

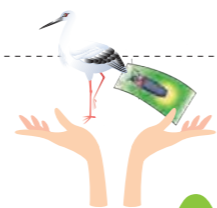
自然と共に生きる

私たちが暮らす雲南市は、自然豊かで美しい環境を有しています。この美しい環境を維持していくためには、生きものや自然環境とともに生きていることを意識し、その保存と活用を努めていくことが重要です。

意識して行動しよう!

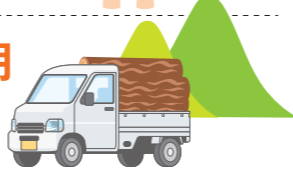
生きものの保全

コウノトリやホタルの保護に努めるなど、生態系の保全に努めましょう。



自然環境の保全・活用

森林や農地、水辺などの保全・活用に努めましょう。



環境美化

清掃活動に参加するなど、まちをきれいにしよう努めましょう。



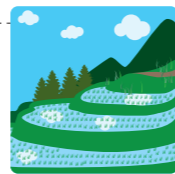
環境緑化

建物周辺や空き地に木や花を植えるなど、環境緑化に努めましょう。



景観の保全・創造

空き家や空き地などを適切に管理・活用し美しい景観の保全に努めましょう。



地域での取り組み事例

赤川ほたる保存会

「ホタルは自然環境のバロメーターである」という思いから、1983(昭和58)年に結成され、以後、ホタルの保護・普及啓発活動を続けており、観光客の呼び込みにもつなげています。このような活動が評価され、2017(平成29)年に「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰を受賞しました。



ホタルの幼虫を放流している様子 (写真提供: 大東小学校)

基本目標

3

環境から地域課題を解決する

環境を良くしていくためには、地域資源をうまく活用して新たな商品やサービスを提供したり、観光客を呼び込むなど、環境を切り口として経済・社会問題の解決に繋がる活動を実践していくことが重要です。同時に、そのような活動を知り、参加するなど環境学習に努めることも重要です。

意識して行動しよう!

地球温暖化対策

省資源・省エネなど地球温暖化防止に努めましょう。



再生可能エネルギーとエネルギーの地産地消

太陽光発電や木質バイオマスなどにより、エネルギーの地産地消に努めましょう。



環境保全と社会・経済発展の好循環

エコツーリズムや地域資源を活かした地域活動に取り組みましょう。



環境保全活動と環境学習

環境保全活動や環境イベントに参加するなど、環境学習に努めましょう。



環境情報

環境に関する情報を入手するよう努めましょう。



地域での取り組み事例

里山照らし隊

高齢化の進む地域で、自然を活用して農村を守ることを目的として、吉田町民谷の宇山地区にて発足しました。主な活動として、「炭蓄電器」の製造とその活用があります。「炭蓄電器」は森林資源を材料として作ることができ、中山間地域におけるエネルギーの自給自足など新たな可能性を秘めた技術です。



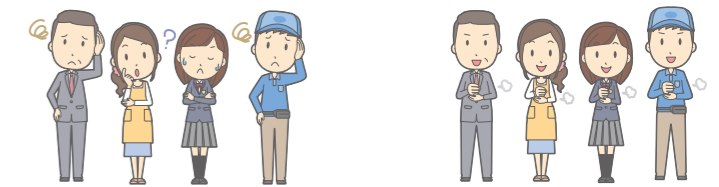
炭蓄電器を活用した可搬式屋外LED照明「くえびこ」(写真提供: 里山照らし隊)

現況と目標値

本計画の進捗状況を確認するため、目標値を設定しており、以下の項目は一部抜粋です。その他の項目等、詳しくは計画書(市HPで閲覧できます)をご覧ください。進捗状況は市のHP等で市民に公開します。

自然環境が守られていると感じる市民の割合

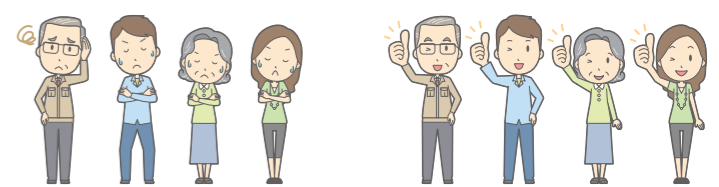
2016年(平成28年) **75.0%** ▶▶▶ 2027年(平成39年) **80.0%**



出典: 雲南市の行政評価(毎年度実施)「市民生活の現状に関するアンケート調査項目」

自然環境・景観の保全のために何らかの取組みをしている市民の割合

2016年(平成28年) **54.0%** ▶▶▶ 2027年(平成39年) **65.0%**

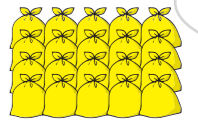


出典: 雲南市の行政評価(毎年度実施)「市民生活の現状に関するアンケート調査項目」

一人1日あたり排出量

2016年(平成28年) **705g/人日** (見込)

2019年(平成31年) **646g/人日** (見込)



No! 無駄買い
Go! リサイクル



出典: 島根県環境生活部廃棄物対策課「一般廃棄物処理の現状」を参考に雲南市市民環境部環境政策課が作成

リサイクル率※

2016年(平成28年) **53.6%**

2019年(平成31年) **56.0%**



空き缶やペットボトルをリサイクルできるね!



出典: 島根県環境生活部廃棄物対策課「一般廃棄物処理の現状」を参考に雲南市市民環境部環境政策課が作成 ※ごみの資源化率、RDF方式による固形燃料化分を含む